まちなか再生推進費

（拡大分） 400万円

まちなか町家等活用助成金

まちなかエリア内に位置する町家等を改修し、地域の魅力的な資源として有効活用する事業に対し助成を行い、まちの賑わいや魅力向上につなげる。

●助成制度の概要

項目	内容
対象建造物	建築基準法施行（昭和25年）以前に建設された伝統的工法による建築物（指定文化財等を除く）
対象用途	対象建造物を改修し、小売業、飲食業、宿泊業などの賑わいの創出に寄与する用途
助成内容	対象建造物の修繕・復元に係る経費の1/2（上限400万円）

●イメージ

町家等を改修することで

エリアの新たな魅力となり、賑わいを創出

長崎開港450周年記念事業費

739万5千円

長崎港が、ポルトガル貿易船が入ってきた1571年の開港から、2021年に450周年を迎えるにあたり、長崎開港450周年を次の50年に向けたスタートの機会として位置づけ、長崎のまちが港とそこから広がる海洋とともに発展していくことを県民、市民が認識し、行動を起こすための契機とするため、記念事業を実施する。

◆長崎開港450周年記念の実施計画策定

◆長崎港の将来像の検討

準備期間

令和元年度	令和2年度	令和3年度
・記念事業等の基本計画 ・港を活かした地域活性化の検討	・記念事業等の実施計画 ・長崎港の将来像検討	長崎開港450周年 記念事業等の実施

「長崎港之図丸山応挙」長崎歴史文化博物館収蔵

被爆75周年（2020年）事業

平和メッセージの発信

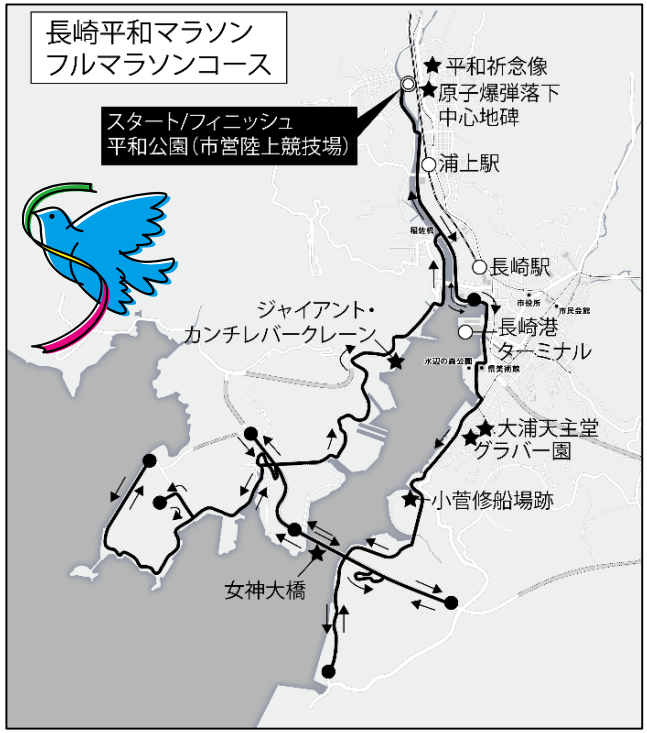
事　業　名		事業費（千円）
拡大	NPT再検討会議等でのアピール活動実施 （平和推進活動費）	7,406
新規	被爆75周年記念事業11件 （被爆75周年記念事業費補助金）	10,285
拡大	平和祈念式典の生花パネルデザインの変更 （平和祈念式典行事費）	1,000
新規	長崎平和マラソン関連事業 （長崎平和マラソン関連平和発信事業）	5,000
新規	サーロー節子氏による被爆75周年記念平和講演会開催 （平和推進活動費）	1,000

平和マラソン
実行委員会負担金　1億1,015万1千円

被爆75周年(2020年)に「PEACE FROM NAGASAKI」をキャッチフレーズとしたフルマラソン大会「長崎平和マラソン」を開催するための経費

◆大会概要

- 開催日時：令和2年11月29日(日) 9:00スタート
- 種目/定員：フルマラソン(42.195km)/10,000人
  ファンラン(8.9km、2,020m)/各1,000人
- 制限時間：フルマラソン/6時間
  ファンラン(8.9km)/1時間30分
  ファンラン(2,020m)/制限時間なし
- ランナー募集：先行エントリー開始/3月11日(水)
  一般エントリー開始/3月25日(水)



被爆75周年（2020年）事業

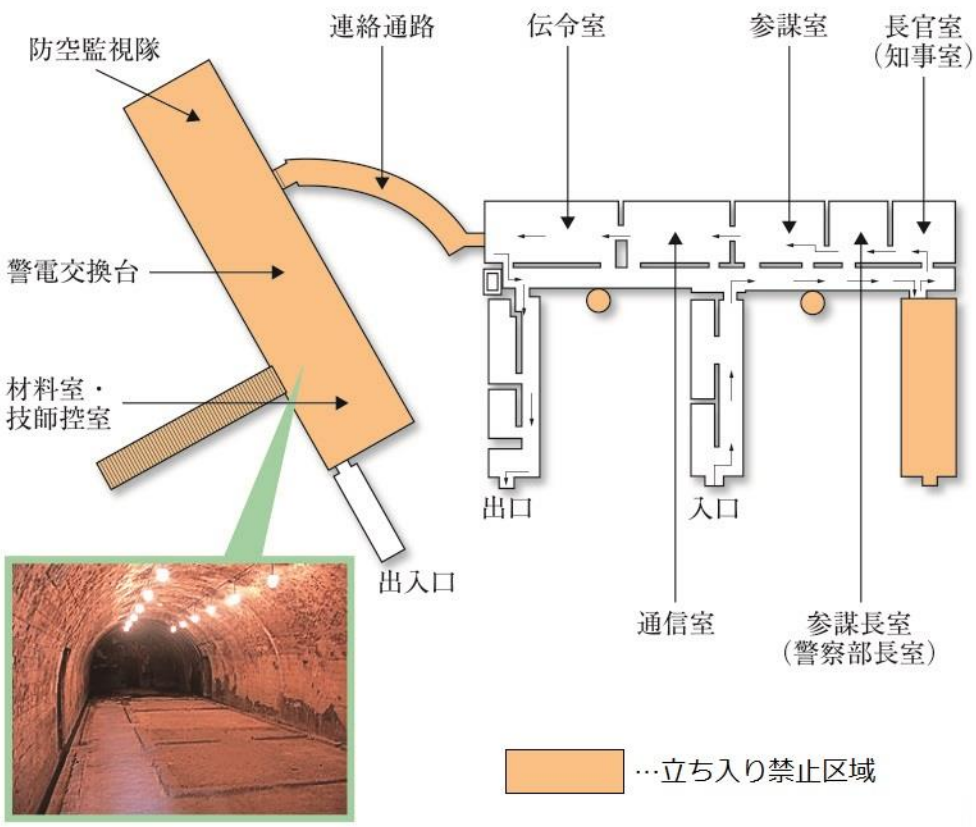
被爆の実相の継承

	事　業　名	事業費（千円）
拡大	被爆資料収集強化と新着資料展の開催 （保存整備活動費）	2,325
新規	原爆被災資料のレプリカ作製（保存整備活動費）	3,277
新規	大学での原爆展の開催（県外原爆展開催費）	2,439
新規	東京オリンピック・パラリンピックにあわせた原爆・平和展の開催【東京都など】 （ヒロシマ・ナガサキ平和アピール推進委員会負担金）	4,338
新規	高校生国際平和交流事業（青少年平和交流費）	3,816
新規	国際青年平和フォーラムの開催 （国際青年平和フォーラム費）	1,395
新規	平和祈念式典への姉妹都市の高校生の招待 （平和祈念式典行事費）	5,000

被爆建造物等保存整備事業費

長崎県防空本部跡（立山防空壕）　2,910万円

経年劣化の進む長崎県防空本部跡の保存整備に向けて、測量や地盤調査等、遺構の現況把握を行う。



水産センター
整備基本計画策定費　610万円

水産センター（牧島）は、施設の老朽化が進むとともに、水産業を取り巻く環境の変化に伴い、施設の使用内容等が変化しており、それらの環境変化に対応するため、水産センター整備の基本計画を策定する。

項　目	内　容
基本計画の主な内容	①基本計画書、②基本計画図 ③工事工程計画、④整備経費概算書
整備予定面積	約7,500㎡
整備予定内容	多目的生産棟、試験研究棟、多目的作業スペース、ろ過施設　等
整備の効果	◎漁業者の収益向上のための試験・調査の体制整備 ◎作業効率や安全性の向上、コスト削減
スケジュール	令和3年度　基本設計、令和4年度　実施設計 令和5、6年度　施設整備

高校生チャレンジショップ事業費

37万1千円

若者の企画やアイデアを実現につなげるための「チャレンジできる場」の仕組みをつくることで、若者に「選ばれるまち」を目指すため、高校生の企画、運営によるチャレンジショップを実施し、将来的な地元就職や創業について検討するきっかけをつくる。

実施場所 ： 浜屋百貨店内 1階イベントスペース
日　　程 ： 1回目　令和2年5月9日（土）～5月10日（日）
　　2回目　令和2年8月頃

事業の流れ

①企画・準備 → ②チャレンジショップ1回目 → ③振り返り → ④チャレンジショップ2回目

海洋プラスチックごみ対策推進費

159万2千円

海洋プラスチックごみの問題の理解＋多くの市民の実践
↓
市民のプラスチックに頼らない日常生活

海洋ごみの現状

海岸に打ち上げられた
大量の漂着ごみ

ウミガメに巻き付いた
プラスチックごみ

問題意識の高まり

世界

- SDGs　H27年9月
  持続可能な
  開発目標の一つ
- G20　R1年6月
  新たな
  海洋プラスチック汚染を
  2050年までにゼロ

国

R2年7月
レジ袋
有料化

Plastics Smart

プラスチックとの
賢い付き合い方
を推進

多くの市民の意識の高まり・実践

R2
現状認識と理解＋実践
- 映像作品、チラシ、ポスター、清掃活動マップでの啓発
- 山、街、川、海でのごみ拾い活動の実施

R3
意識改革＋実践
- 市民参加型の**街ごみ**拾いイベントの実施
- 既存の**海岸ごみ**拾いとの協働活動の実施

R4
継続的な実践
- 市民参加型の**海岸ごみ**拾いイベントの実施

プラスチックに頼らない日常生活

＋
- 4R
- 分別回収
- マイバッグ利用促進

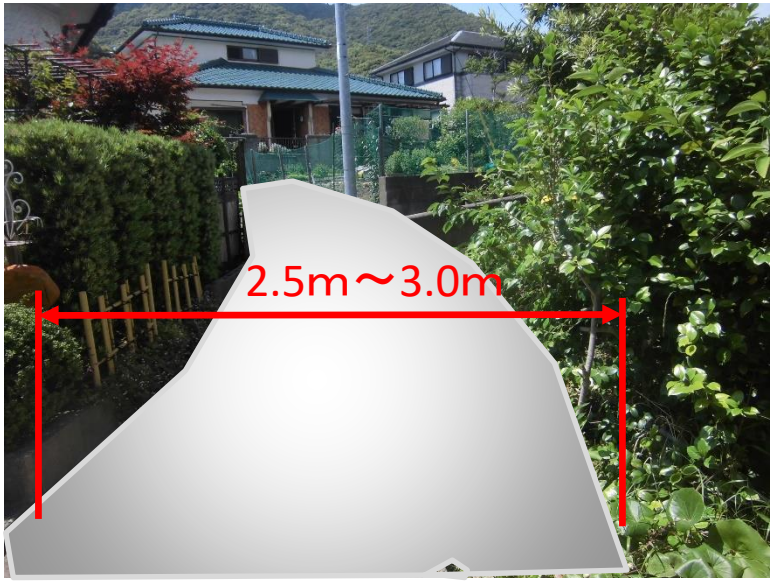
市民環境団体による海岸清掃

道路新設改良事業費
くらしの道整備事業

2,000万円

事業概要

車みち整備事業の対象とならない地域において、道路の一部拡幅、離合場所の確保などにより、緊急車両や福祉車両が乗り入れできるよう道路整備を行うもの。

整備前

整備後